

J

使用説明書
日本語版



Canon
AUTOBOY

PRISMA

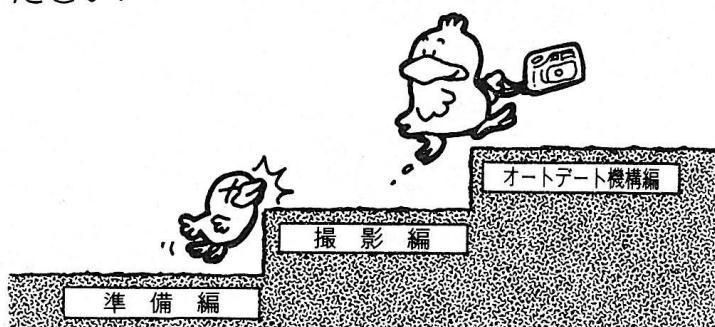
/ デート

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

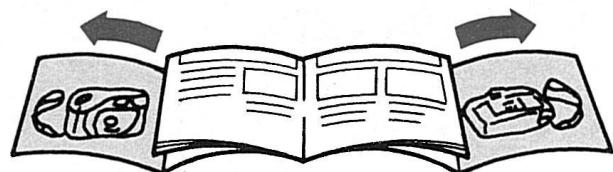
キヤノンオートボーオリズマおよびプリズマデー^トは使い易さと楽しさ一杯の全自动コンパクトカメラです。カメラを初めて手にする方でも、写したいものにカメラを向けてシャッターボタンを押すだけの簡単操作で、気軽にきれいな写真が写せます。さらにロアングルファインダーやリモコン機能もありますので、今までとはちょっとちがった写真もお撮りいただけます。

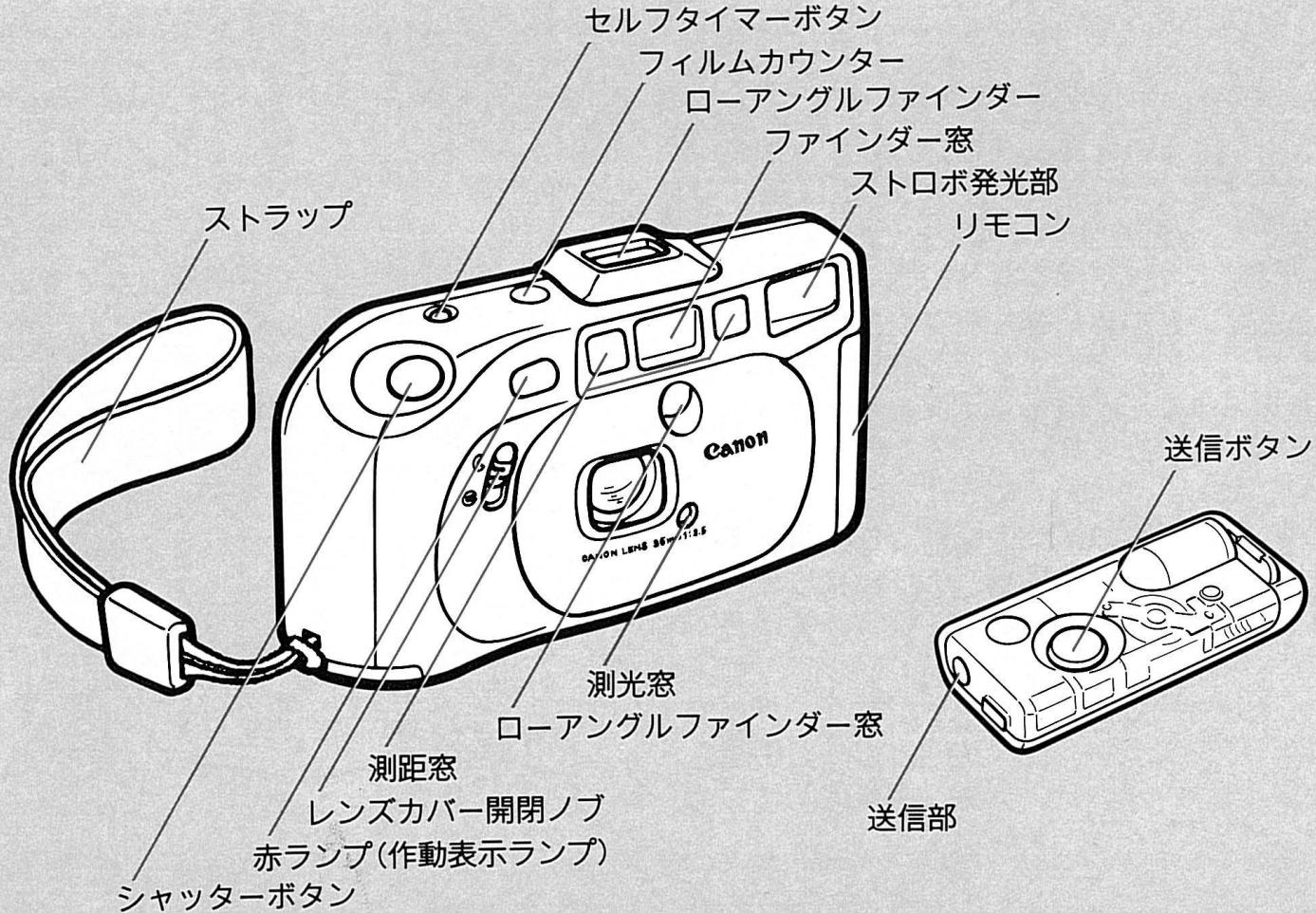
この使用説明書は『準備編』、『撮影編』および『オートデータ機構編』の3部構成になっています。『準備編』は撮影前の準備と基本的なカメラの扱い方を解説しています。特にカメラの構え方やシャッターボタンの押し方を充分にマスターしてください。『撮影編』ではひと味ちがったスナップ写真の写し方の

コツを解説していますので、このカメラの機能をフルに活かして、楽しい写真をお撮りください。



P. 3とP. 46の各部名称を図のように開いてご覧ください。





目 次

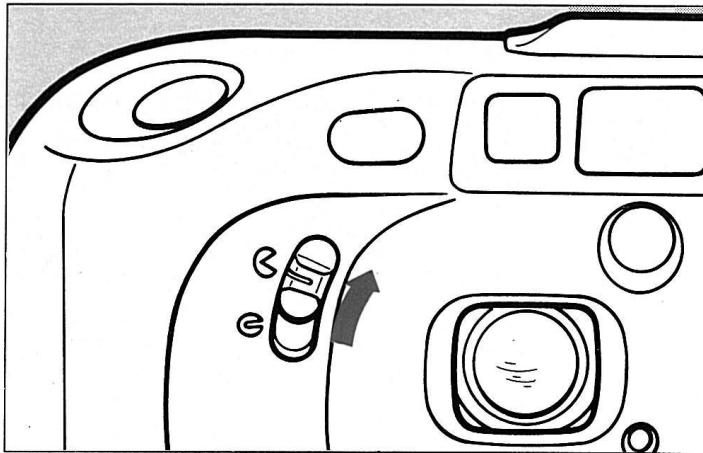
各部名称	3, 46	オートデータ機構編	32
準備編	5	各部名称	32
1. 電池をチェックします	6	1. 写し込み表示の選択	33
2. カメラに慣れましょう	8	2. 日付けの修正	35
3. フィルムを入れます	11	電池の交換	37
撮影編	15	〈カメラ用の電池〉	37
1. 撮影です	16	〈データ用の電池〉	39
〈ピンボケ写真を撮らないために〉	18	カメラを修理に出す前に	41
〈オートフォーカスの苦手なものの撮り方〉	20	取り扱い上の注意	42
〈フィルムを取り出します〉	21	Q & A	43
2. 楽しい写真を撮りましょう	22	主要性能一覧	45
〈ローランダルファインダーをのぞいて写します〉	22	アフターサービスについて	47
〈カメラから離れてリモコン撮影できます〉	24		
〈セルフタイマー撮影〉	28		
〈工夫ひとつで写真のイメージがこんなに変わります〉	29		

準備編

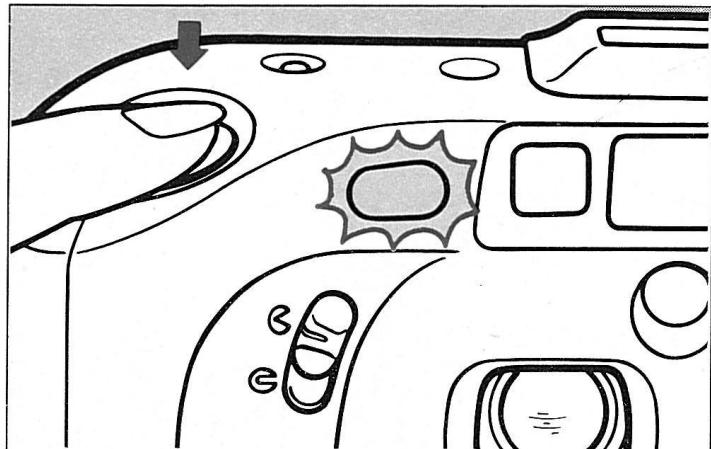


1. 電池をチェックします

カメラには専用のリチウム電池(2CR5 6V 1個)が組み込まれています。次の手順で電池をチェックしてください。



1 レンズカバーを図のようにして開けます。
閉じるときは逆にしてください。



2 シャッター ボタンを 軽く 押します。赤ランプが一瞬点灯すれば撮影OKです。

マークはカメラの使用上および撮影上の注意や覚えて欲しいことを表しています。

- 撮影本数：24枚撮りフィルム 約70本
(ストロボ30%使用時)
- 赤ランプが点灯しないときは、電池を交換します。(P. 37参照)



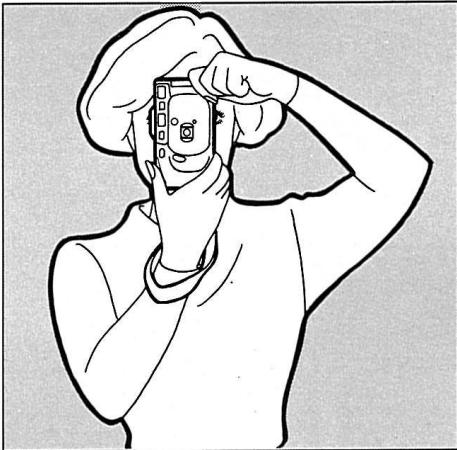
旅行などで写真をたくさん撮るときは、交換用のリチウム電池をご用意ください。



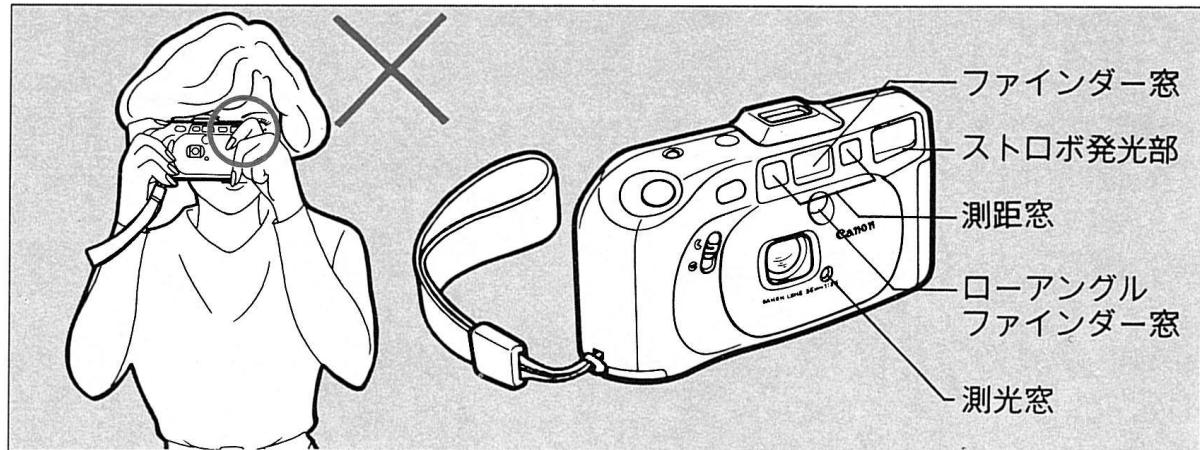
カメラを使用しないときは、レンズカバーを必ず閉じておいてください。レンズをゴミやホコリから守ると同時に携帯時やケース収納時の不用意なシャッター ボタン押しによる電池消耗や無駄写しを防ぎます。

2. カメラに慣れましょう

〈カメラの構え方〉

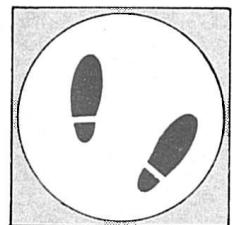


- 1** ストラップを手首に通して、両手でカメラを持ちます。
- 2** 片方のひじを軽く体につけます。
- 3** フайнダーをのぞくときはカメラを額につけるようにしてください、またローアングルファインダーは30cmぐらい離してのぞきます。



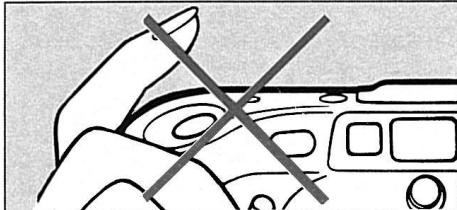
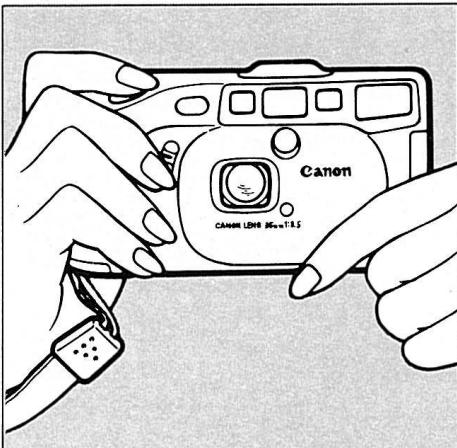
4 レンズ、測距窓、測光窓、ストロボ発光部
に髪や指がかかるないようにします。

5 足はそろえずに片足を一步踏み出すように
すると、安定します。



〈シャッターボタンの押し方〉

シャッターボタンを軽く押すとピント合わせが行われ、深く押すとシャッターが切れて撮影となります。シャッターボタンの押し方は、きれいな写真を撮るために重要なポイントです。手ぶれ写真を作らないために繰り返し何度も練習してください。



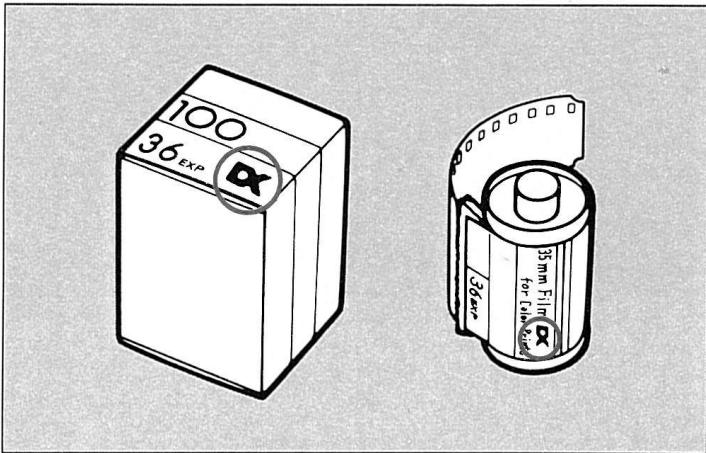
1 指の腹をシャッターボタンに乗せます。

2 シャッターを切るときは、
1の状態からカメラをにぎるような感じで静かに押し込みます。



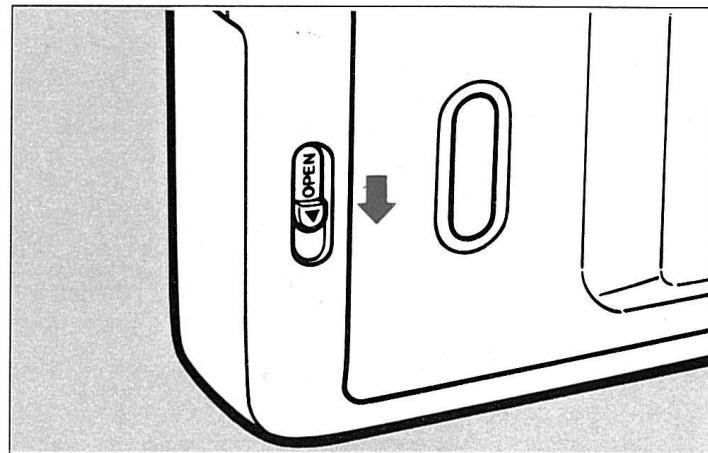
指をシャッターボタンから離して一気に押さないでください。また、指を立てて押さないでください。

3. フィルムを入れます

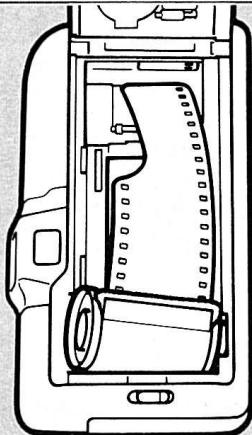


DXマークの付いたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

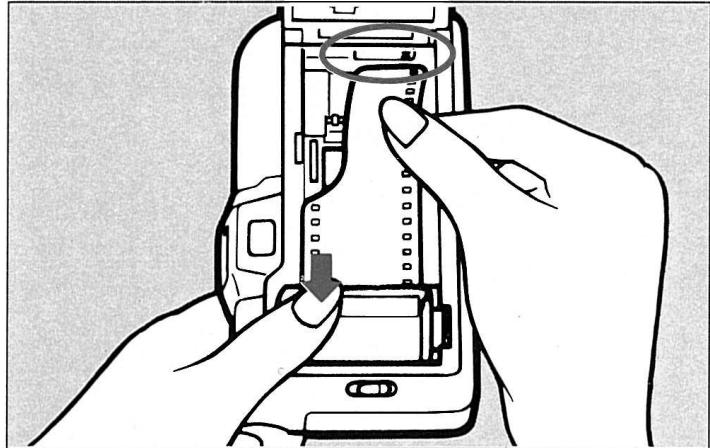
- 使用できるフィルム感度は、ISO 50～1600です。



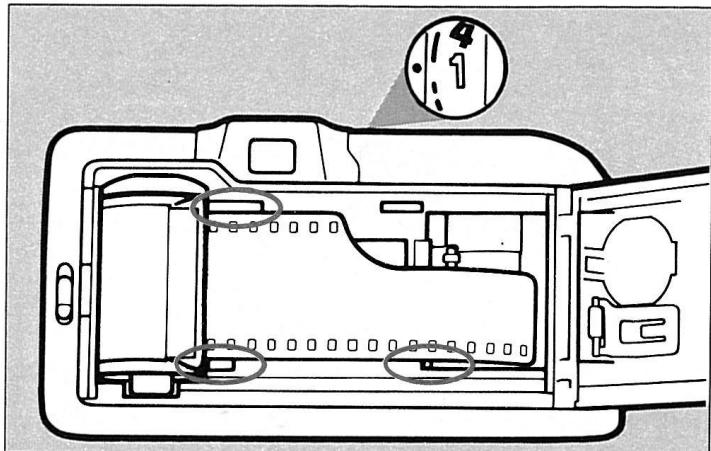
1 裏ぶた開放ノブを押し下げて、裏ぶたを開けます。



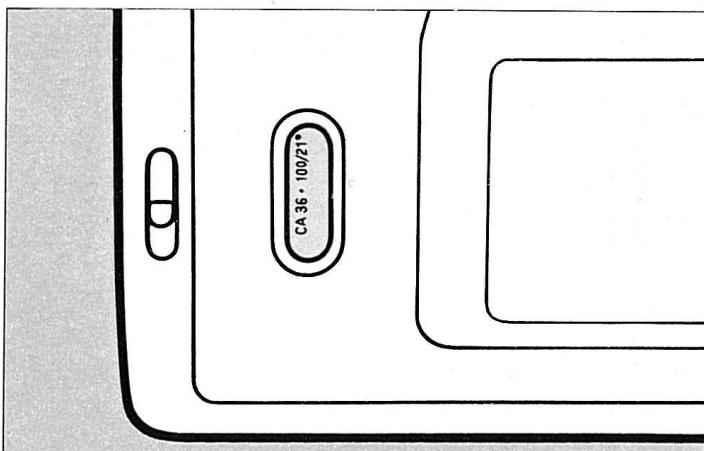
2 フィルムを図のように斜めにして入れます。



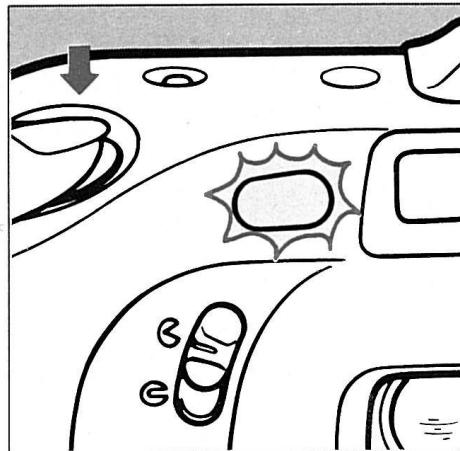
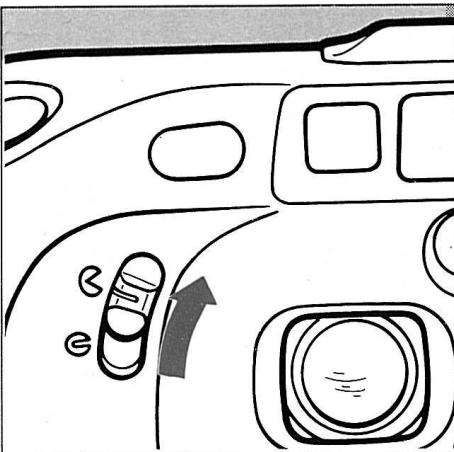
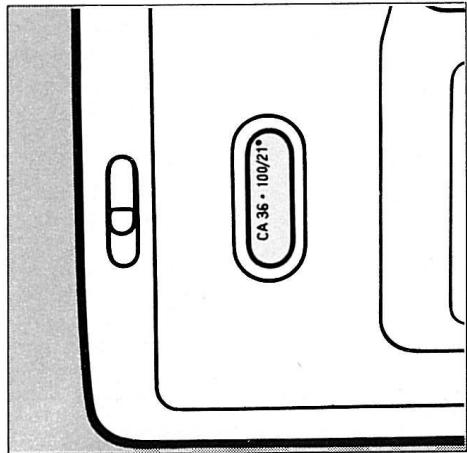
3 フィルムの長さをフィルム先端位置マークに合うように引き出します。このときパトローネ(フィルム容器)を指で押さえるようにします。



4 フィルムがフィルムガイドの間にあることを確かめて裏ふたを閉じます。裏ふたを閉じると、フィルムが自動的に送られて1枚目にセットされます。フィルムが正しくセットされると、フィルムカウンターに“1”が出ます。



- フィルムカウンターに“1”が出ないときはシャッターが切れません。もう一度入れ直してください。
- フィルム確認窓でフィルムが入っているかどうかを確認できます。



撮影の前に次のことをチェックしてください。

1 フィルムは入っています
か? (P. 13参照)

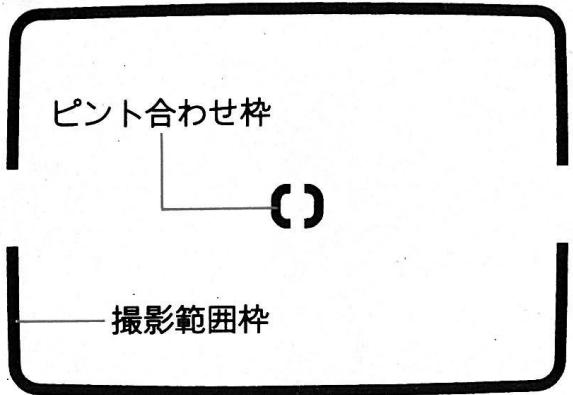
2 レンズカバーは開いてい
ますか? (P. 6参照)

3 電池はOKですか?
(P. 7参照)

撮影編



1. 撮影です

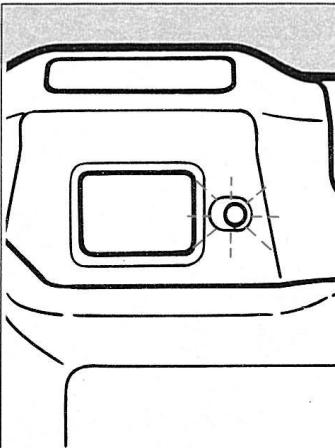
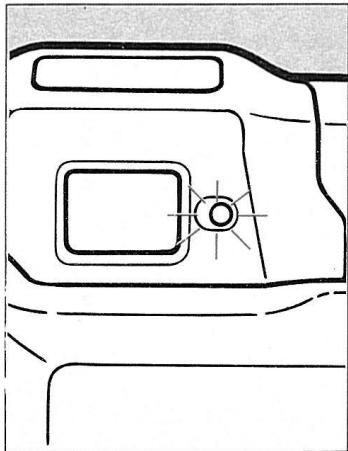


シャッター ボタンを 軽く 押すと、 ピント 合わせ 枠で ねらった ものだけに 自動的 に ピン トが 合い ます。



1 ピントを合わせたいものにピント合わせ枠を合わせます。

- このときはまだシャッター ボタンを押さないでください。



2 軽くシャッターボタンを押して、緑ランプが点灯したらピント合わせは完了です。そのまま指を離さず静かに押して撮影します。(暗いところではストロボが自動発光します。)

■ 0.96m以内はピントが合いません。(近すぎると緑ランプが点滅して警告します。)



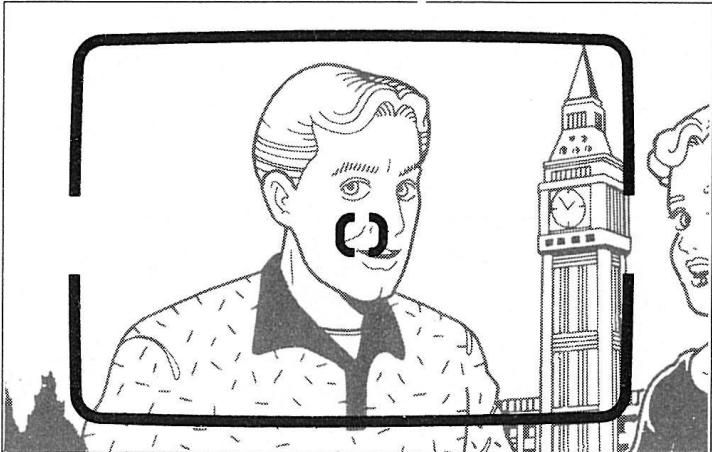
■ ストロボ撮影できる距離の範囲(ネガカラーフィルム使用時)

ISO 100	0.96~4.0m
ISO 200	0.96~5.7m
ISO 400	0.96~8.0m

オートフォーカスカメラは、ファインダー中央のピント合わせ枠でピントを合わせる機構になっています。構図によってピントを合わせたいものがファインダー中央にこないようなときは、次の操作をしてください。これをフォーカスロック撮影と呼びます。



1 構図を決めます。（ピント合わせ枠が背景の塔に合っているため、そのまま写すと人物がボケて背景の塔がシャープに写ります。）



2 人物にピント合わせ枠を合わせ、軽くシャッターボタンを押します。（緑ランプが点灯：フォーカスロック）



3 シャッターボタンを軽く押したまま構図を戻し、シャッターを切れます。（これで人物がシャープに写ります。）

〈オートフォーカスの苦手なものの撮り方〉

オートフォーカス機構は非常に精度が高い
のですが、写すものによってまれに正し
くピントが合わないことがあります。

- (例)
1. 光の反射が強いもの
(自動車などの直射日光を反射し
ているところ)
 2. 光の反射が弱いもの
(黒い髪など)
 3. オートフォーカスフレームより
小さいもの
 4. ガラス越しのもの

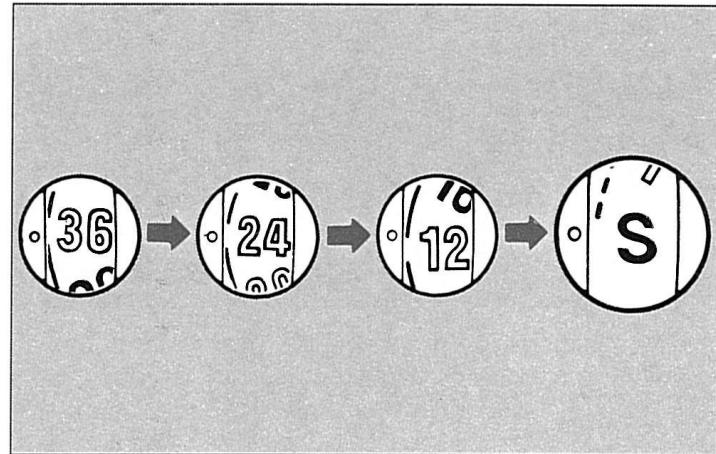


- 1～3 のものを写すときは、写し
たいものとほぼ等しい距離にある
別のものを利用して、フォーカス
ロック撮影をしてください。
- 4 のときはガラスに近づいて撮影
してください。

〈フィルムを取り出します〉

フィルムは最後まで撮り終えると、自動的に巻き戻されます。巻き戻しが終わると自動停止して、フィルムカウンターに“S”が出ます。“S”が出ていることを確認してから、裏ぶたを開けフィルムを取り出してください。

- 巻き戻し中は、フィルムカウンターが逆算します。



フィルムの規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがあります。

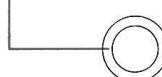
2. 楽しい写真を撮りましょう

〈ローアングルファインダーをのぞいて写します〉

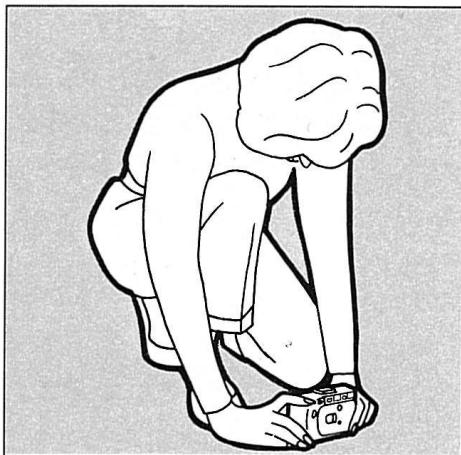
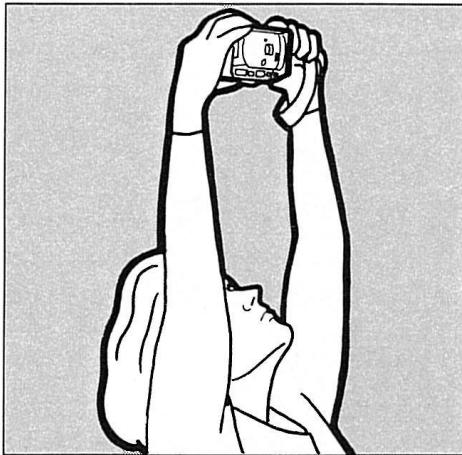
ここからはローアングルファインダーやリモコンを利用した、楽しい写真の写し方の解説です。このカメラの新しい機能をフルにいかした、ひと味違った写真に挑戦してください。



ピント合わせ枠



このカメラには通常のファインダー以外に接眼部から目を離してのぞけるローアングルファンダーがついています。これをのぞいて構図を決めると、角度の変わった楽しい写真が写せます。また、めがねをかけた人、お化粧が気になる人なども撮影に専念することができます。



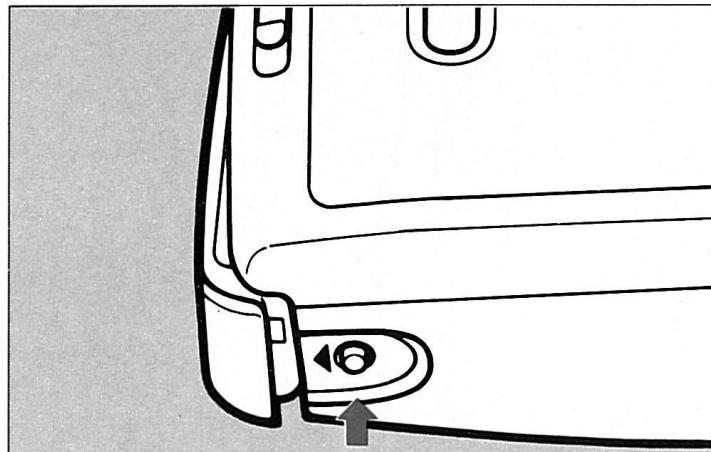
- 必ずピントを合わせたいものにピント合わせ
枠を合わせてください。
- ローアングルファインダーは、目から25~30
cm位が見やすい位置です。



ローアングルファインダーをのぞいて撮影するときは、特に手ぶれに気をつけて、シャッターボタンを押してください。カメラを図のように工夫して固定すると、手ぶれを防げます。

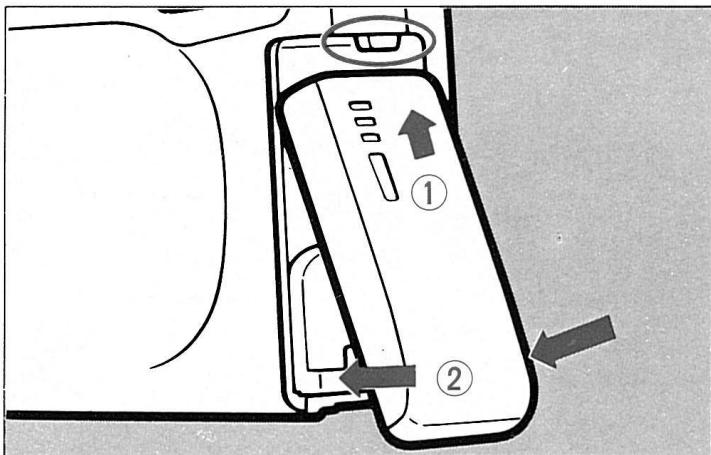
〈カメラから離れてリモコン撮影できます〉

このカメラにはリモコンが内蔵されていますので、自分も一緒に写りたいときはカメラから離れてリモコン撮影することができます。撮影のタイミングをつかんだ生き生きとした写真をお撮りください。



1 リモコン取り外しボタンを押すと外れます。

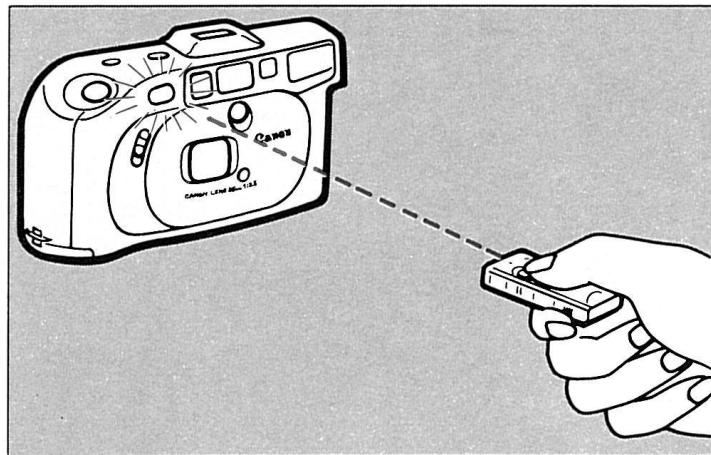
- 取り外すと赤ランプが点滅して、受信撮影ができる事を知らせます。



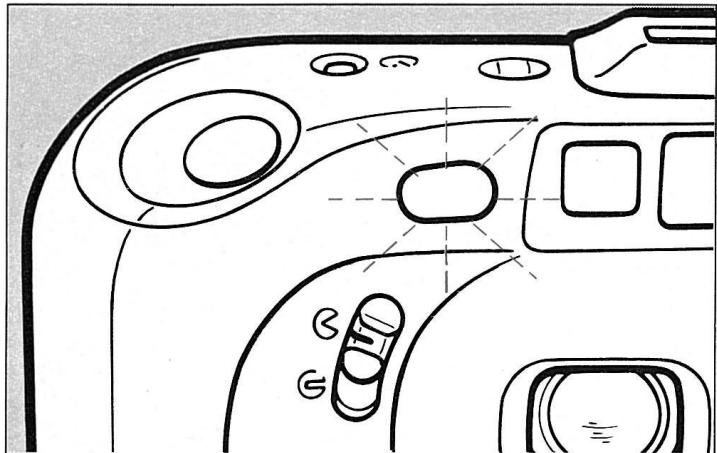
取り付けるときは、フックにリモコンをかけ矢印方向に押し付けます。

2 フайнダーをのぞき構図を決めます。このときもピント合わせ枠を撮りたいものに合わせます。

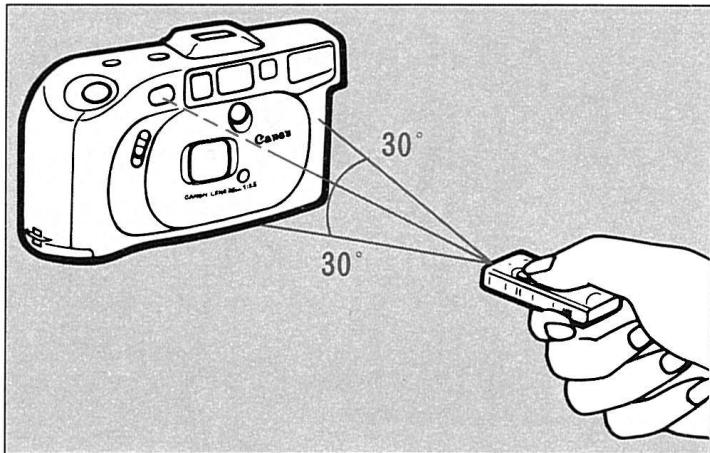
3 リモコンを持って、予定の場所に立ちます。



4 点滅しているカメラの赤ランプにリモコンの送信部を向けて、送信ボタンを1回押します。



5 受信されると赤ランプの点滅が速くなり、約2秒後にシャッターが切れます。

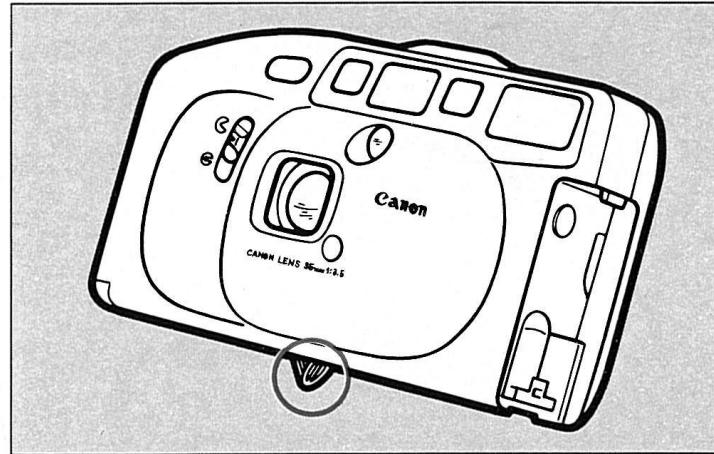


■リモコン撮影できる距離は、カメラの真正面で約1m～約5m、左右30°の範囲で約1m～約3.5mです。それより遠いときは、セルフタイマー撮影をしてください。（P.28参照）

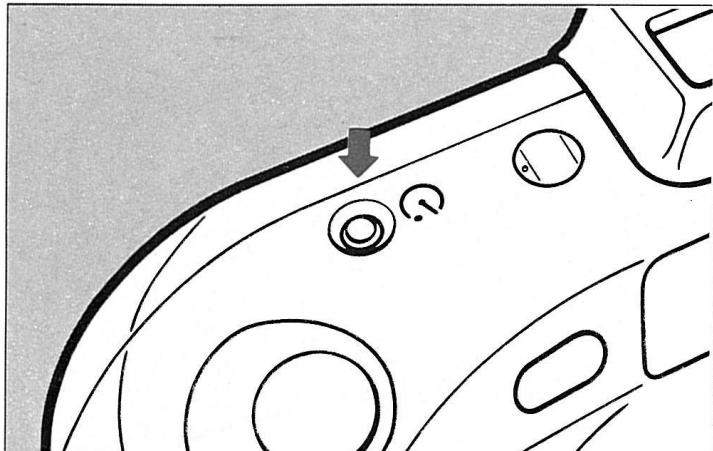
- ひとりでリモコン撮影するときは、カメラのシャッターボタンを軽く押してフォーカスロックしたあと、撮影位置に立って送信ボタンを押してください。ただし、フォーカスロックは1枚のリモコン撮影で解除されます。
- リモコンを取り外したまま約8分間放置すると、リモコン撮影はできなくなります。リモコンの着脱で再び撮影できます。



逆光時はリモコン撮影できないことがあります。

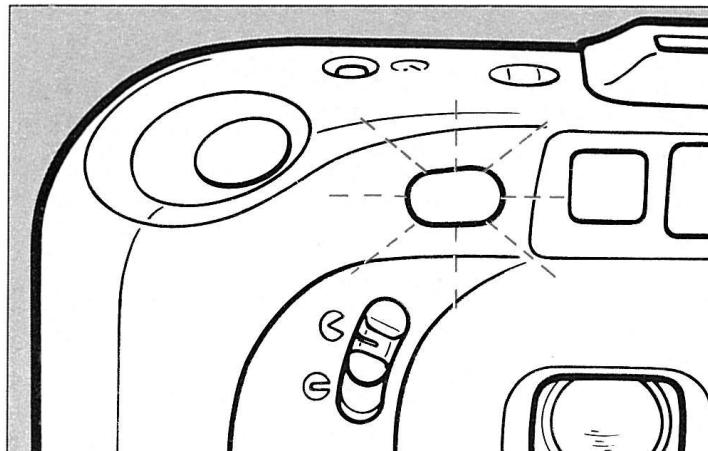


- カメラを机やテーブルなど平らなところに置いて撮影するときは、ティルトつまみを図のように利用してください。ローアングルファインダーをのぞけば、構図も楽に決められます。



リモコン撮影できないときは、セルフタイマーをご利用ください。

1 ファインダーをのぞいて、ピント合わせ枠を人物に合わせ、セルフタイマーボタンを押して緑ランプの点灯を確認します。



2 セルフタイマーボタンから指を離すと赤ランプが点滅を始め、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前に点滅が速くなります。

■セルフタイマーを途中で解除したいときは、レンズカバーを閉じてください。

〈工夫ひとつで写真のイメージがこんなに変わります〉

①縦と横を使い分けてみましょう

カメラを横に構えるか縦に構えるかで、写真のイメージがこんなに違います。



横位置……静的で安定感があり、広さを感じさせます。



縦位置……奥行感をだしたいときは、縦に構えてください。

②写す位置を変えてみましょう

目の高さからだけでなく、ローアングルファインダーを使って高いところや低いところから写してみましょう。



ハイアングル(高い位置)



ローアングル(低い位置)

……子供を写すときは、その子の目の高さでカメラを構えてみてください。これまでと違った新鮮な写真になります。

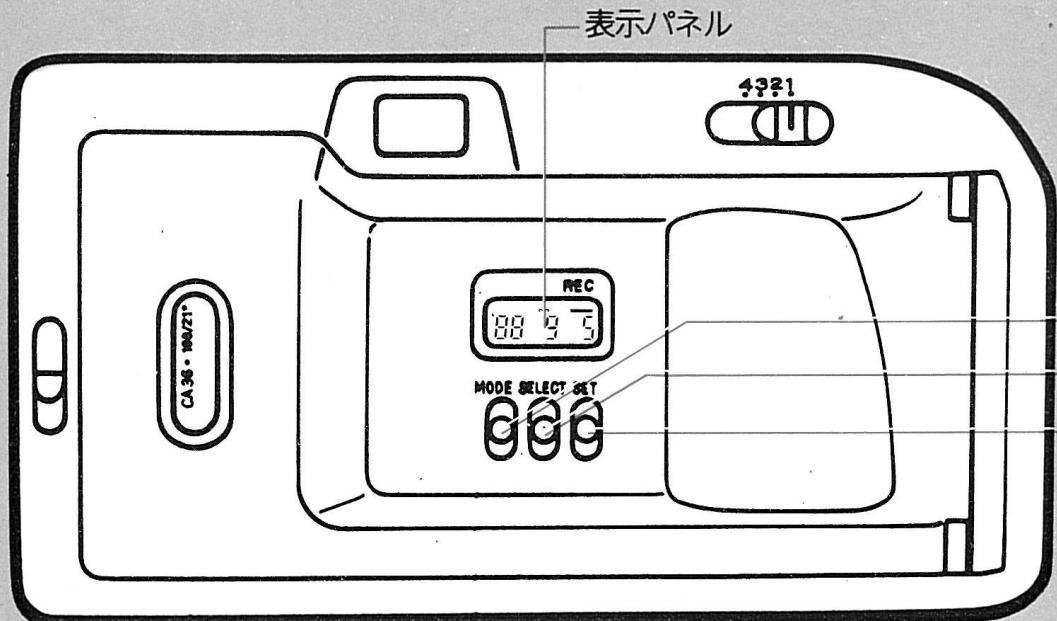


③もっと近づいて写しましょう

このカメラは96cmまで近づいて写せます。いつも同じ距離からばかりでなく、撮りたいものにできるだけ近づいて写してみましょう。

構図いっぱいに撮ると迫力のある感じになります。

オートデータ機構編



表示切り換えボタン(MODE)
修正位置選択ボタン(SELECT)
数値セットボタン(SET)

1. 写し込み表示の選択

表示切り替えボタン(MODE)を押して、
写し込みたい表示を選びます。

◇<年・月・日>表示

88 9 5 (1988年 9月 5日)

◇<日・時・分>表示

5 16:48 (5日 16時 48分)

◇<ハイフン>表示

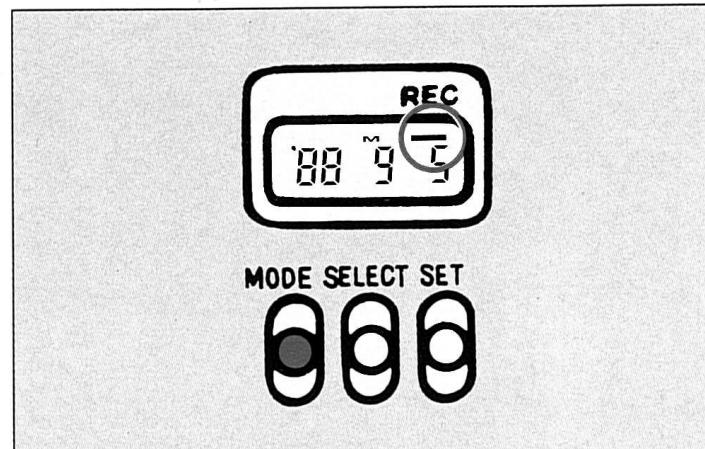
--- (写し込みなし)

◇<月・日・年>表示

9 5 88 (1988年 9月 5日)

◇<日・月・年>表示

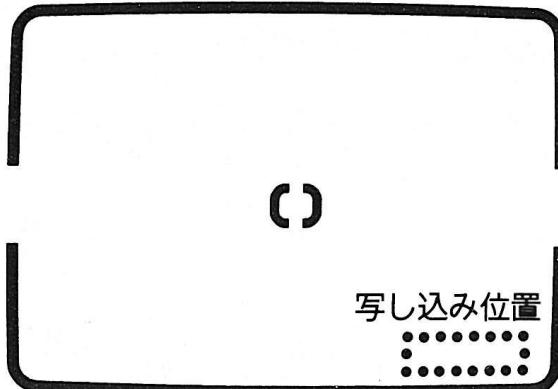
5 9 88 (1988年 9月 5日)



- 1は写し込み確認表示で、シャッターを切ると点滅して知らせます。
- Mは<月>を表します。



■日付けは写真のように写し込まれます。



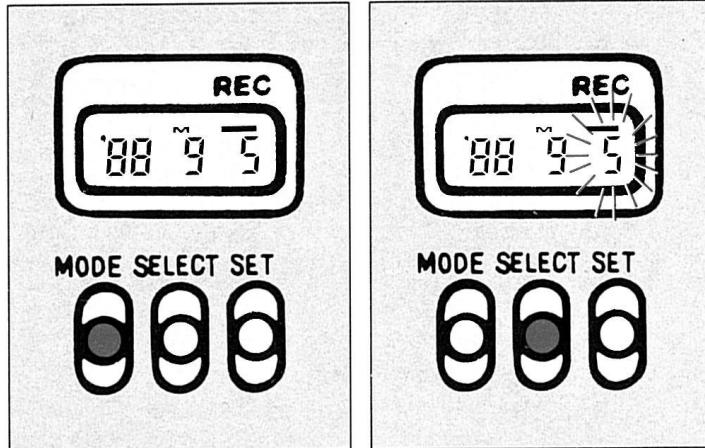
写し込み位置



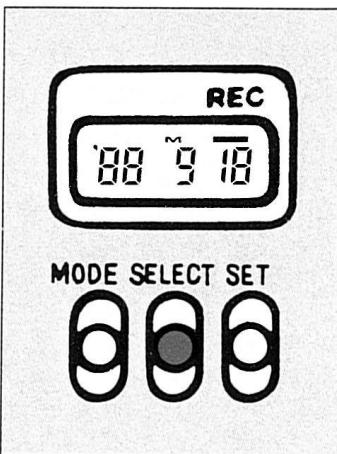
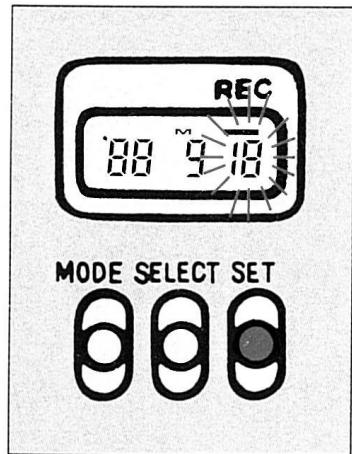
2. 日付けの修正

2019年までのオートカレンダーを組み込んでいますので、撮影のたびに日付けをセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付け・時刻を修正するときは次のようにします。

- 日付けは出荷時に日本時間にセットされています。
- オートボーキプリズマデートには日付けのための電池(リチウム電池)も組み込まれています。



- 1 表示切り換えボタン(MODE)を押して、表示パネルに修正したい〈年・月・日〉表示(〈日・時・分〉表示)を出します。
- 2 修正位置選択ボタン(SELECT)を押して、修正したい数字を点滅させます。



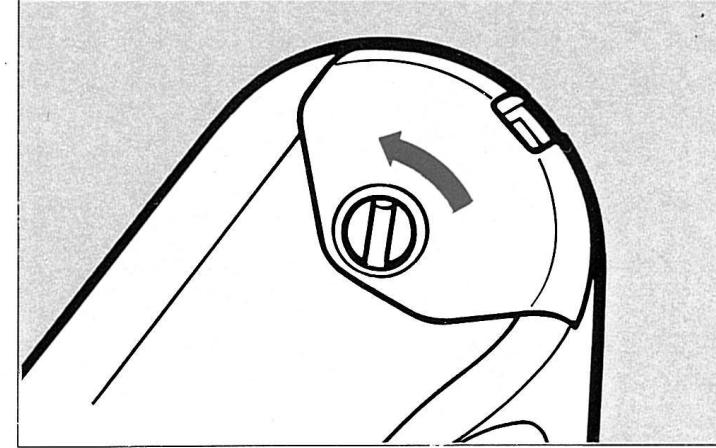
■数値セットボタンは1回押すと1進み、押し続けると早送りします。

3 数値セットボタン(SET)を押して修正します。

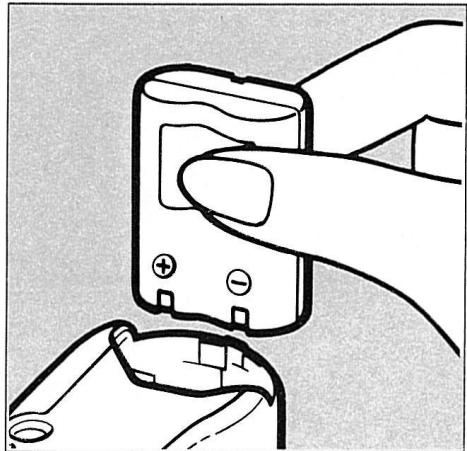
4 点滅が止まるまで修正位置選択ボタン(SELECT)を押します。

電池の交換 <カメラ用の電池>

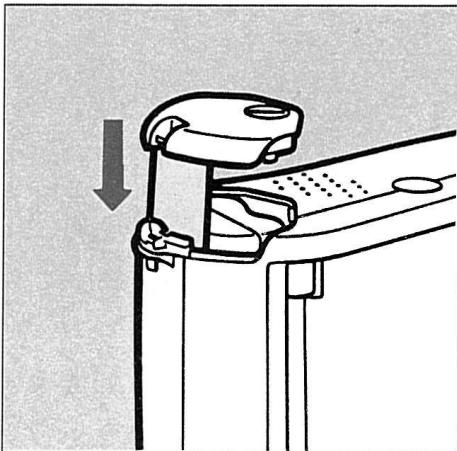
シャッターボタンを軽く押しても赤ランプが点灯しないときは、電池がありませんので、次の手順でカメラ用の電池を交換してください。



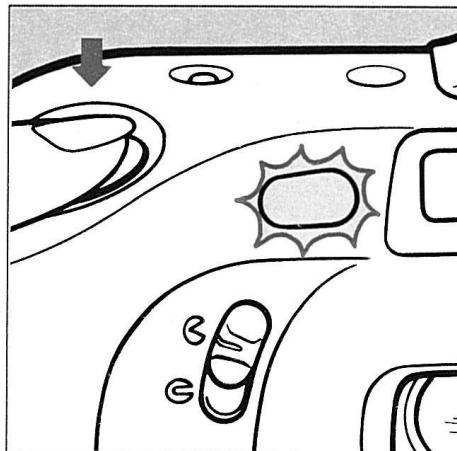
- 1 コインなどを使って電池室のふたを取り外します。



2 電池を取り出し、新品のリチウム電池(2CR5 6V)を入れます。



3 図のように保護シートを電池室の壁に添って差し込み、ふたを取り付けます。



4 シャッターボタンを軽く押して赤ランプの点灯を確認します。

■電池を交換するとき以外は、絶対に電池を取り出さないでください。

〈データ用の電池〉

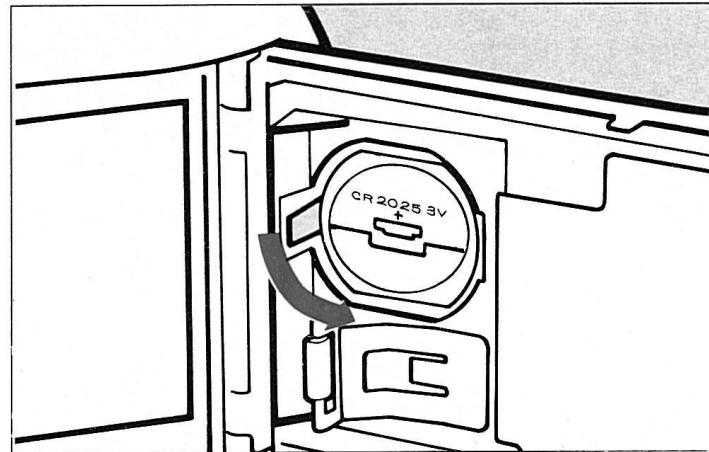
写し込まれた数字が見えにくくなったときは、データ用の電池を交換してください。

使用電池：ボタン型リチウム電池
CR 2025 3V 1個

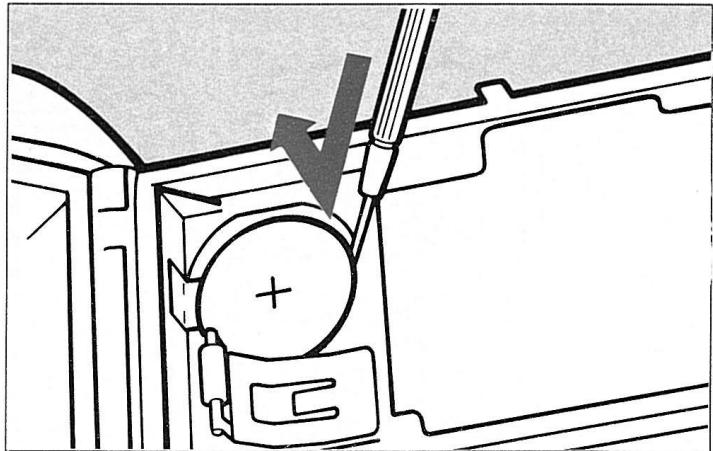
寿命：約3年



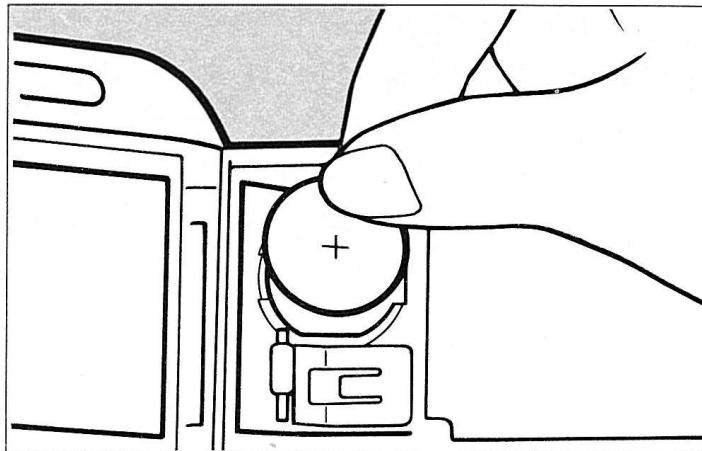
電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。



1 裏ふたを開け、電池室のふたを取り外します。



2 図のように、電池を取り外します。



3 電池の+を上にして入れ、ふたを取り付けます。

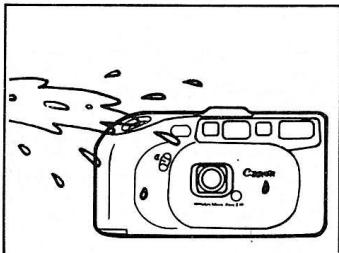
4 日付けと時刻をセットし直します。

カメラを修理に出す前に

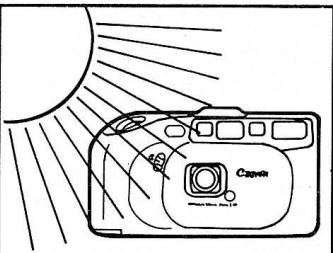
カメラの調子が悪いときは次の表を参考にしてチェックしてください。

症 状	原 因	解決方法	ペー ジ
1.シャッターボタンを押してもシャッターカバーが切れない	①レンズカバーが閉じている ②ストロボ充電中(約1.5秒) ③フィルムが正しく装てんされていない (フィルムカウンターに“1”が出ていない) ④巻き戻されたフィルムがカメラに入っている	①レンズカバーを開けます ②そのまま押しつづけます(緑ランプが点灯するとシャッターが切れます) ③フィルムを正しく装てんし直します ④フィルムを取り出し新しいフィルムを装てんします	P. 6 P. 17 P. 13 P. 21
2.リモコン撮影ができない	①リモコンを取り外して8分以上放置した ②逆光で撮影した ③撮影距離が遠すぎる	①リモコンを着脱します ②セルフタイマー撮影をします ③セルフタイマー撮影をします	P. 27 P. 28 P. 28
3.撮影の途中で赤ランプが点灯しなくなった	•電池の寿命が終わりに近づいている	•電池を交換します	P. 37
4.できあがった写真がはっきり写っていない	①ピントを合わせたいものにピント合わせ枠を合わせていない ②測距窓をおおっていた ③オートフォーカスの苦手なものを写した ④シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	①ピントを合わせたいものにピント合わせ枠を合わせます ②髪や指などで測距窓をおおわないようにします ③フォーカスロック撮影をします ④シャッターボタンは静かに押します	P. 16 P. 9 P. 20 P. 10

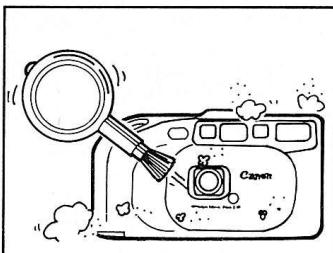
取り扱い上の注意



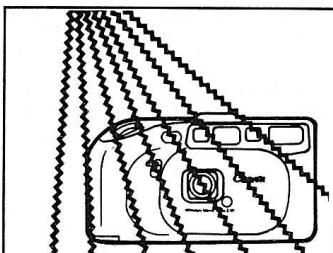
◆ このカメラは防水構造になつていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一、水にぬれてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。また水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあつたときは固く絞ったきれいな布でよくふきとってください。



◆ 直射日光下の車の中などは高温となり、故障の原因となることがありますので放置しないでください。
◆ カメラには、高電圧回路が内蔵されていますので危険です。絶対に自分で分解しないでください。



◆ レンズやフィルム室内にごみがついているときは、市販のプロアーブラシで吹きとばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかんでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。



◆ フィルムはカメラに入ついていても、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。
◆ カメラを長期間使用しないときは、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。

Q & A

Q.1 リバーサルフィルム(スライド用フィルム)は使えますか?

A.1 はい使えます。ただし、フィルム感度ISO50, 100, 200, 400のものを使用してください。

Q.2 フィルム感度別のストロボ撮影できる距離が知りたいのですが。

A.2 下の表のようになります。

ISO 100	0.96～ 4.0m
ISO 200	0.96～ 5.7m
ISO 400	0.96～ 8.0m
ISO 1000	0.96～11.3m
ISO 1600	0.96～12.8m

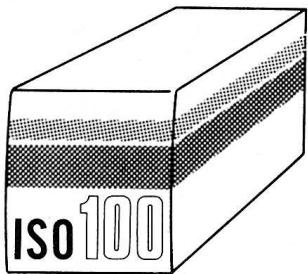
(ネガカラーフィルム使用時)

Q.3 フィルム感度(ISO)とは何ですか?

A.3 フィルムが光に感じる度合を数字で表したものので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常撮影ではISO100, 200, 400のものを使用してください。

Q.4 DXマークのないフィルムは使えないですか?

A.4 使えますが、フィルム感度はすべてISO100にセットされますので、ISO100をご使用ください。



Q.5 写真に写し込まれた日付けが読みにくいことがあります。

A.5 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがくるようにしてください。また、数字はオレンジ色に写りますので、オレンジ系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q.6 表示パネルの数字が薄くなってきたのですが、

A.6 液晶の交換時期です。（寿命：約5年）最寄りのキヤノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください。（有料）

Q.7 誤って、撮影の途中で裏ぶたを開けたらどうなりますか？

A.7 もちろんフィルムは感光してしまいますが、すぐ裏ぶたを閉めて2～3枚空撮りしてください。情況によって異なりますが、撮ったものの何枚かのフィルムは救われるかもしれません。なお、撮り直しのできるときは、新たなフィルムで撮り直されることをおすすめします。

Q.8 リモコンの中に電池見えますが、寿命はどのくらいですか？

A.8 約20,000回送信することができます。電池はボタン型リチウム電池(CR1220 3V 2個)を使用していますが、交換は最寄りのキヤノンサービスステーションにご用命ください。

Q.9 リモコンを外しているときに、通常の撮影ができますか？

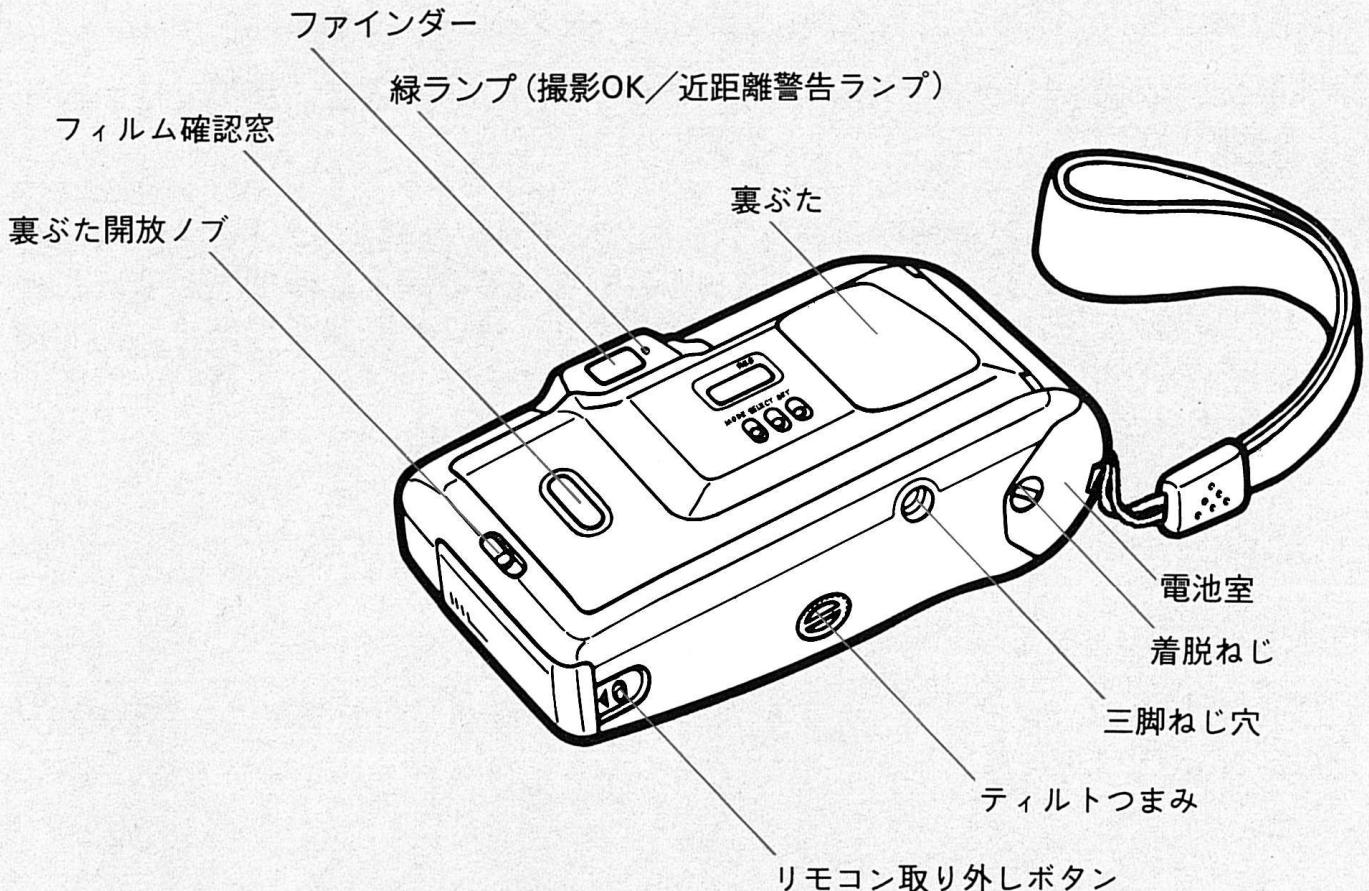
A.9 はい、できます。セルフタイマー撮影もできます。

主要性能一覧

型式	: 35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ	測光作動範囲	: EV 9~17 F3.5 1/40~F32 1/125
画面サイズ	: 24×36mm	フィルム感度	: DXコードにより1段ごとに自動セット (ISO 50~1600)
レンズ	: キヤノンレンズ 35mmF3.5 3群 3枚構成	内蔵ストロボ	: 低輝度自動発光式
焦点調節	: アクティブオートフォーカス フォーカスロック可能	ストロボ運動範囲	: 0.96~4m(ネガカラーフィルムISO100使用時)
撮影距離	: 0.96m~∞	ストロボ充電時間	: 約1.5秒
シャッター型式	: 紋り兼用プログラム式電磁駆動シャッター	電源	: リチウム電池 2CR5 6V 1個
ファインダー	: ①アルバタ式逆ガリレオファインダー 倍率: 0.45倍 ②ローアングルファインダー 倍率: 0.80倍 (上面より 250mm・明視の距離で見た場合)	撮影可能本数	: 24枚撮りフィルム 約70本 (ストロボ30%使用時), ただし当社試験条件による
ファインダー情報	: ファインダー内: ピント合わせ枠, 撮影範囲枠 ファインダー接眼部: 撮影OKランプ兼近距離警告ランプ(緑色 LED)	バッテリーチェック	: シャッターボタンを軽く押して, 作動表示ランプ 0.2秒間点灯時OK
フィルム装てん	: 自動(自動空送り付き)	大きさ(データ付き)	: 139.3(幅) × 76.2(高さ) × 49.9(奥行)mm
フィルム巻き上げ	: 自動	重量(データ付き)	: 335 g(電池含む)
フィルム巻き戻し	: 自動, 終了後自動停止, 途中巻き戻し不可	オートデータ機構	
フィルムカウンター	: 順算式 4枚ごとに枚数数値表示 フィルムに連動して逆算	方式	: 液晶表示式 クオーツデジタル時計内蔵オートカレンダー(西暦2019年まで, うるう年自動修正)
セルフタイマー	: 電子式セルフタイマー セルフタイマーボタンにより作動, 約10秒後リリーズ	写し込みデータ	: ①年・月・日②日・時・分③写し込みなし ④月・日・年⑤日・月・年の5通り
リモートコントロール機能	: 赤外光を利用した専用リモコンシステム 送信ボタンにより作動, 約2秒後リリーズ 作動距離範囲: 5 m(0°), 3.5m(左右30°, 上下20°) 電源: ボタン型リチウム電池 CR1220 3V 2個 寿命: 約20,000回	時計機構	: 常温20°C下で月差±120秒以下
		電源	: ボタン型リチウム電池 CR2025 3V 1個 寿命: 約3年

★ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。

★都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。



アフターサービス

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃、諸掛りはお客様にてご負担願います。
 2. 本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において7年間を目安に保有しています。従って原則として期間中は修理をお受けします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましては、お買い上げ店、または当社サービス機関にお問い合わせください。
- 修理品を送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	幌・〒060 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル) ☎(011)	231-1353
仙台	台・〒980 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル) ☎(022)	266-4151
新潟	潟・〒950 新潟市東大通り1-4-1 (マルタケビル) ☎(0252)	43-2111
銀座	座・〒104 東京都中央区銀座5-9-9 ☎(03)	573-7834
横浜	宿・〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1階) ☎(03)	348-4725
大宮	浜・〒221 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4 (安田生命横浜西口ビル) ☎(045)	312-0211
静岡	宮・〒330 大宮市大成町2-273 ☎(0486)	66-3930
名古屋	岡・〒420 静岡市常磐町2-13-1 (住友生命静岡常磐町ビル) ☎(0542)	55-2241
梅田	屋・〒450 名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル) ☎(052)	563-6822
京都	田・〒530 大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル) ☎(06)	373-8181
高島	都・〒604 京都市中京区東洞院御池下ル笹屋町435 (京都御池第一生命ビル) ☎(075)	241-0216
福岡	沢・〒920 金沢市玉鉢2-1-266 ☎(0762)	91-1215
沖縄	松・〒760 高松市紺屋町9-6 (高松大同生命ビル) ☎(0878)	22-3666
千葉	島・〒730 広島市中区小町2-30 (第二・有楽ビル) ☎(082)	245-7791
大分	岡・〒812 福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル) ☎(092)	411-4173
大分	繩・〒902 那覇市安里102 (日本生命安里ビル) ☎(0988)	67-2106

◎営業所

千葉	葉・〒280 千葉市末広2-13-2 ☎(0472)	61-5121
大分	分・〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975)	37-4117

◎サービスセンター

東京	京・〒108 東京都港区港南2-13-29 ☎(03)	450-2731
大阪	阪・〒540 大阪市東区森の宮中央2-5-3 (大阪研修センター1階) ☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

PUB. C-IJ-143

0988N41

©CANON INC. 1988

CY8-6155-001

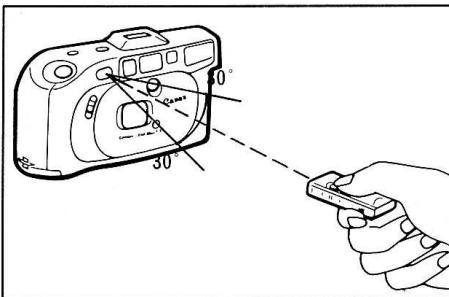
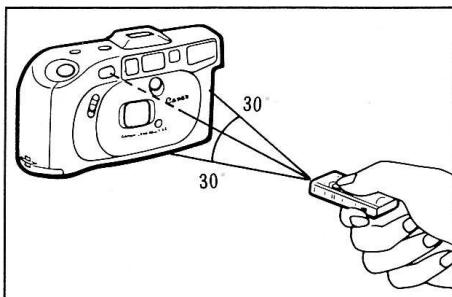
PRINTED IN TAIWAN

J

訂正

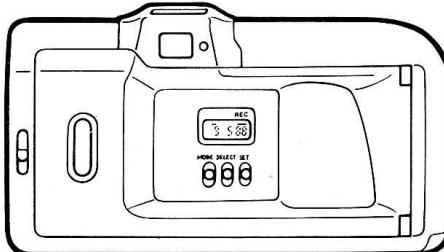
P.26, P.32, P.45に次のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

P.26



P.32

- ・カメラのイラストがオートボーライト2デイトと入れ替わっていました。
ただし各部名称、表示、操作方法は同じです。



P.45

ファインダー：

- ②ローアングルファインダー
倍率：0.80倍



ファインダー：

- ②ローアングルファインダー
倍率：0.08倍